

令和7（2025）年度 学校評価アンケート集計結果【保護者】（R6とR7の比較）

○実施期間 令和7年12月15日～令和8年1月23日 回答率：50.4%（114/226）

評価方法（A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない）

①値はそれぞれ%に変換して比較 ②回答数 R6（46/203 23%） R7（114/226 50.4%）

| 項目 | 観 点 | | A | | B | | C | | D | |
|----------|-----|---------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | R6 | R7 | R6 | R7 | R6 | R7 | R6 | R7 |
| 学校生活 | 1 | 我が子は、宜野座高校に入学してよかったと思っている。 | 53 | 54 | 38 | 33 | 4 | 11 | 4 | 1 |
| | 2 | 学校は、教育目標もわかりやすく、信頼のおける学校である。 | 30 | 29 | 56 | 60 | 9 | 11 | 5 | 0 |
| | 3 | 学校は、施設・設備面において安全・清潔で学習環境は整っている。 | 26 | 28 | 58 | 62 | 16 | 10 | 0 | 0 |
| 学習生活 | 4 | 学校は、丁寧な学習指導で基礎学力を定着させている。 | 27 | 27 | 61 | 59 | 11 | 13 | 0 | 1 |
| | 5 | 我が子は、学校の教科指導や授業内容に満足している。 | 19 | 26 | 62 | 58 | 12 | 14 | 7 | 2 |
| | 6 | 学校は、生徒を的確に評価し、成績処理は適切に行われている。 | 33 | 32 | 60 | 61 | 4 | 8 | 2 | 0 |
| 生徒指導 | 7 | 学校は、保護者と連携して生徒の基本的な生活習慣の確立に取り組んでいる。 | 26 | 26 | 50 | 56 | 19 | 18 | 5 | 0 |
| | 8 | 学校は、校則に関する指導に丁寧に取り組んでいる。 | 30 | 30 | 65 | 60 | 3 | 9 | 3 | 2 |
| | 9 | 我が子は、身なりを正したり、時間を守ったり等の約束ごとを守っている。 | 31 | 37 | 51 | 50 | 13 | 12 | 4 | 1 |
| 進路指導 | 10 | 先生は、進路に関する情報を適切に提供し、進路相談に対応している。 | 37 | 42 | 49 | 50 | 12 | 7 | 2 | 1 |
| | 11 | 学校は、希望進路に応じた取組（講座・小論文指導・面接指導等）を行っている。 | 37 | 36 | 46 | 54 | 17 | 11 | 0 | 0 |
| | 12 | 我が子は、希望進路の早期決定、実現に取り組んでいる。 | 21 | 37 | 43 | 35 | 26 | 23 | 10 | 5 |
| 特別指導 | 13 | 学校は、各種行事を充実し、HR活動や生徒会活動は活発である。 | 25 | 33 | 58 | 57 | 17 | 9 | 0 | 1 |
| | 14 | 我が子は、学級活動や部活動、学校行事を通して成長している姿が見られる。 | 48 | 43 | 40 | 45 | 8 | 11 | 5 | 2 |
| | 15 | 先生や部活動指導者は、日頃の言動について、人権に配慮した対応をしている。 | 47 | 35 | 47 | 53 | 3 | 6 | 3 | 6 |
| 健康安全 | 16 | 学校は、健康診断等を実施し、生徒の健康管理に取り組んでいる。 | 42 | 39 | 58 | 54 | 0 | 7 | 0 | 0 |
| | 17 | 先生は、生徒理解に努めており、悩みごとなど相談しやすい。 | 37 | 30 | 51 | 54 | 9 | 14 | 3 | 3 |
| | 18 | 学校は、薬物等（喫煙・飲酒・薬物）に関する指導に取り組んでいる。 | 50 | 37 | 45 | 55 | 5 | 7 | 0 | 1 |
| 地域・保護者連携 | 19 | 先生は、面談や電話連絡等を通して学校の様子を保護者に知らせている。 | 24 | 35 | 58 | 43 | 13 | 20 | 4 | 2 |
| | 20 | 学校は、ホームページや報道等を利用し、保護者や地域に情報を発信している。 | 34 | 31 | 49 | 57 | 15 | 11 | 2 | 1 |
| | 21 | 我が子は、学校からの連絡や文書は家庭に届けている。 | 30 | 30 | 48 | 36 | 13 | 28 | 9 | 6 |
| | 22 | P T Aは、諸活動に参加できる環境や声掛けができています。 | 23 | 30 | 61 | 54 | 9 | 13 | 7 | 3 |

①R7は回答率が23%から50.4%へ大幅に向上し、学校評価としてのデータの信頼性が高まった。②また、全体として肯定的評価（AとBをあわせた数値）は高水準を維持しており、学校経営の方向性自体は一定の支持を得ているといえる。特に進路に関する項目では改善が顕著で、No12「希望進路の早期決定・実現」は肯定が増加し、否定的回答が減少した。③進路情報の提供や進路指導（No10・11）、行事や生徒会活動の活性化（No13）も評価が向上しており、R6での課題に対する取組の成果が表れている。④他方で、新たな課題も明確になった。最も否定的回答が多く、かつ悪化したのがNo21「学校からの連絡や文書が家庭に届いている」である。家庭への情報到達に課題があることが示された。⑤また、No19「学校の様子の周知」やNo17「相談しやすさ」、No8「校則指導の丁寧さ」、No15「人権への配慮」など、個別対応や日常的な指導・対応の質に関わる項目で否定的回答が増加している。⑥これらを踏まえると、次年度は、現在の進路指導等の成果を維持・定着させながら、学校から家庭への情報発信と保護者への到達の確実性の向上、生徒指導、進路指導などに関わった「保護者との個別的な連携のあり方の改善」や「保護者への説明や対応の質の改善」が重点課題となるであろう。年間を通して定期的に連絡方法や対応プロセスを点検し、改善を継続的に図っていくマネジメントサイクルを回しながら課題の解決に当たる必要がある。